

Ⅱ 主な事業

【査定】欄の記載の意味

- ・経費の精査：事業費の積算根拠となる数量や単価等を精査したもの
- ・事業内容の精査：事業の必要性や実施手法等を精査したもの

備考欄の記載の意味

- ・充当率：市債が発行できる対象事業費に対する市債の割合
- ・措置率：市債の対象事業費に対する地方交付税措置の割合

※予算額は各事業の予算額から関連予算額を抜き出した金額のため、「Ⅰ 予算の概要」「Ⅲ 資料」に掲載している各事業の予算額とは一致しない場合があります。

アクションプラン 政策分野1 暮らし・コミュニティ

Point !

- ① 過去最大の約2,100名分の保育の受け皿を整備し、待機児童解消を加速
- ② 子ども医療助成制度の、原則無料となる対象を小学2年生まで拡大

保育環境の充実

待機児童解消に向けて、ハード・ソフト両面の施策の充実に取り組み、子どもたちが健やかに育つ環境を整備

・私立保育所等整備補助関連

予算額：5,355,000千円（P.29）

待機児童解消を加速するため、私立保育所等を整備する保育事業者に対する補助を行い、2,073人分の保育の受け皿を整備

☆○公立保育所等整備費 予算額：266,000千円（P.75）

区の子育て支援の拠点となる「区保育・子育て支援センター（愛称：ちあふる）」を中央区（基本・実施設計）、西区（改築）に整備

☆○一時預かり事業費 予算額：619,000千円（P.30）

保育所や幼稚園が実施する一時預かり事業において、新たに幼稚園における2歳児の一時預かりの開始、長時間預かり実施園に対する補助拡充



子育て世帯の負担軽減

子育て世帯の経済的負担や、働きやすさ・暮らしやすさの向上のため、各種助成制度の拡充や子どもの預かりサービスの利便性を向上

☆○子ども医療助成費 予算額：3,557,000千円（P.33）

中学校修了前の子どもの医療費の一部を助成する医療助成制度において、通院・入院の自己負担が原則無料（初診時一部負担金を除く）となる対象を、小学1年生までから小学2年生までに拡大

★●幼児教育・保育の無償化 負担軽減額：4,911,446千円

3歳以上の全世帯の保育料及び0～2歳児のうち非課税世帯の保育料を無償化。併せて認可外保育施設等についても保育料の負担を軽減

医療的ケアが必要な児童等への支援

医療的なケアが必要な障がい児者への支援体制を整備するとともに、潜在ニーズの把握、医療機関との連携方法を検証

☆○医療的ケア児等支援関連 予算額：32,000千円（P.25）

学校・保育所への看護師モデル配置、障害児通所支援事業所等に対する看護師配置経費の補助、研修の実施

※ ★～アクションプランに見込まれていない新規事業

☆～アクションプランに見込まれていないレベルアップ事業

●～新規事業

○～レベルアップ事業

暮らしの防災力強化

北海道胆振東部地震の教訓を踏まえ、地域防災計画の修正に向けた検証や災害時の情報発信のためのホームページの改善

☆○地域防災計画策定・修正関連費

予算額：111,000千円（P.24）

北海道胆振東部地震を踏まえた地震被害想定を検証、洪水ハザードマップの全世帯への配布

★●公式ホームページ改修費

予算額：16,000千円（P.68）

災害時の情報発信を強化するため、公式HPに外国語自動翻訳機能や音声読み上げ機能を追加

健康な暮らしを支える医療・介護の取組

住み慣れた地域で健やかに暮らし続けるため、健康寿命の延伸や、日常生活を支える体制構築を支援

【介護保険会計】

☆○介護予防センター等運営事業費

予算額：597,122千円（P.83）

地域における介護予防活動を支援する介護予防センターの体制強化

国民健康保険会計・介護保険会計の全体像はP.27～28に掲載

その他の主な事業

○消防出張所機能強化費

予算額：586,000千円（P.26）

☆○社会的養護自立支援費

予算額：62,000千円（P.31）

子どもたちの学び・育ちの環境整備

学習環境や進路選択の支援、放課後の居場所づくりを進め、子どもたちが健やかに学び、育つための環境を整備

☆○学校施設整備

予算額：6,961,000千円（P.34）

学校統合に伴う新築や児童数増に伴う増築、耐震性能や老朽化を踏まえた改築等を実施

☆○児童会館整備費

予算額：697,000千円（P.32）

学校と併設する新型児童会館の整備や、耐震性能が低い老朽化した児童会館の改築など、児童の放課後の居場所づくりを推進



冬の暮らしを支える除排雪体制

限られた財源や体制のなか、市民や企業、関係機関等と連携し、市民満足度の高い雪対策と持続可能な除雪体制を構築するため、過去最大となる予算を計上

☆○除雪費

予算額：21,512,518千円（P.35）

除排雪の効率化のため、大規模融雪槽の整備やICT技術を活用した1人乗りグレーダ（除雪車）の増車

アクションプラン 政策分野2 産業・活力

- Point !**
- ① アジア初のラグビーワールドカップ日本大会。札幌ドームでも熱戦が繰り広げられる！
 - ② 広域の経済圏での魅力ある取組による札幌のまちのさらなる活性化

大規模スポーツイベントの誘致・開催

ラグビーワールドカップ2019の札幌開催や、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催準備等を通じ、札幌の魅力を国内外に発信するとともに、2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けた機運を醸成

- ラグビーワールドカップ2019大会開催関連
予算額：735,330千円（P.43）

札幌ドームで2試合を開催
おもてなしの心で観戦客を迎え入れ、札幌の魅力を発信



（ラグビー仕様の札幌ドーム）



（ファンゾーン設置）

札幌ドーム開催試合

・9/21 オーストラリアvsフィジー ・9/22 イングランドvsトンガ

- 冬季オリンピック・パラリンピック招致関連
予算額：69,000千円（P.42）
冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた招致機運醸成及び計画更新等

広域的な取組の強化

札幌市とその近隣市町村がそれぞれの特徴を生かしながら、密接な連携と役割分担の下で、圏域経済などに資する取組を行うことにより、「住みたくなる」「投資したくなる」、「選ばれる」さっぽろ連携中枢都市圏を目指す。

- ★● 連携中枢都市圏推進関係 予算額：19,083千円（P.41）
「地域課題」と「学生」のマッチングにより、新たな解決手法を展開し、圏域内の課題解決を図る等の取組を実施
- ☆○ 企業立地促進費 予算額：960,000千円（P.44）
雇用の創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、本社機能移転をはじめとした企業の立地等を促進
- ★● 連携中枢都市圏における誘客促進費 予算額：9,000千円（P.77）
レンタカー等を活用し、圏域内の観光客の動態を調査するとともに、戦略的な共同プロモーションを実施
- ☆○ 健康医療バイオ産業支援費 予算額：62,000千円（P.39）
「健康医療」「IT」「経営」を学ぶ学生を結び付け、創業意欲を醸成する企業家育成プログラムの実施等
- ☆○ 札幌UIターン就職支援費 予算額：52,000千円（P.48）
UIターン希望者などの就職支援窓口の運営及びインターンシップ・面接を受けるための移動費を補助

※ ★～アクションプランに見込まれていない新規事業

●～新規事業

☆～アクションプランに見込まれていないレベルアップ事業

○～レベルアップ事業

観光客受入・MICE誘致の推進

地震・台風等の災害による観光客数の落ち込みからの回復を図り、元気の札幌を国内外に発信するとともに、観光客の更なる増加に向け、観光客受け入れ環境の強化を推進

☆○観光客受入環境整備関係 予算額：248,000千円（P.40）

宿泊施設が行う富裕層向け環境整備に対する補助及び停電時の非常用電源を備えたデジタルサイネージによる総合案内板の設置

- 丘珠空港関連調整費 予算額：272,000千円（P.47）
丘珠空港の利用促進PRや利活用の検討、丘珠空港ビルのエレベーター棟増築に係る補助を実施

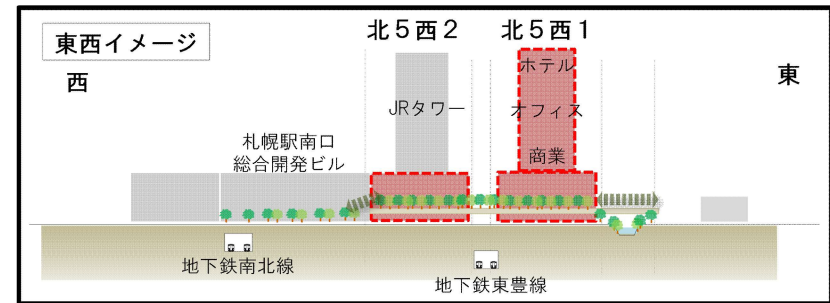
☆OMICE施設整備費 予算額：35,000千円（P.77）

新MICE施設整備に向けた機能の詳細や管理運営の検討

札幌駅前のリニューアルに向けた検討

北海道新幹線の札幌延伸に伴い、札幌の玄関口となる札幌駅前をリニューアルするための各種検討

- 札幌駅交流拠点まちづくり推進費 予算額：19,000千円（P.46）
札幌駅周辺街区の事業化に向けた検討



ICT・AIなど先端技術の活用

先端分野であるICTやAIを活用し、地域課題や公共事業の課題に対する新たな解決手法の構築や、企業活動に有効なデータを提供

★●AIを活用した公共事業の最適化に関する研究費 予算額：35,000千円（P.45）

AIの技術を活用した行政課題を解決する仕組みの研究・構築

☆○札幌市ICT活用戦略推進費 予算額：35,000千円（P.68）
官民が保有するオープンデータ等の収集・活用

※ICT…情報や通信に関連する科学技術の総称

※AI…人工的に人間と同様の知能を実現させようとする試み、あるいはそのための基礎技術

その他の主な事業

★●さっぽろプレミアム付商品券事業費 予算額：3,062,000千円（P.38）

雇用の拡大に向けた取組

就職希望者・就業者を支援することにより、札幌圏の経済を活性化

☆○札幌UIターン就職支援費（再掲） 予算額：52,000千円（P.48）
UIターン希望者などの就職支援窓口の運営及びインターンシップ・面接を受けるための移動費を補助

★●移住による就業者・起業創出事業費 予算額：32,000千円（P.49）
東京圏からのUIターンの促進と札幌市企業の担い手不足を解消を図るため移住費用等の一部を補助

●女性の多様な働き方支援窓口運営費 予算額：67,000千円（P.77）
女性のニーズに応じた働き方を支援する窓口の運営

☆○さっぽろ女性活躍・働き方改革応援事業費 予算額：12,000千円（P.70）
女性が働きやすい環境づくりに向けたフォーラムの開催

アクションプラン 政策分野3 低炭素社会・エネルギー転換 政策分野4 戦略を支える都市空間

Point!

- ① 再開発事業により魅力ある都市空間を創出!
- ② 次世代エネルギーの普及を促進!

魅力ある都市空間の創出

札幌の顔である都心周辺に高次な都市機能の集積をすすめ、魅力ある都市空間を創出

・再開発事業関連

予算額：3,408,000千円 (P.56)

再開発事業に対する補助を行い、民間投資を最大限活用した都心周辺の再整備を推進

<対象>

南2西3南西地区、北8西1地区、北4東6周辺地区、
北3東11周辺地区、北3西3南地区、苗穂駅北口西地区



次世代エネルギーの普及促進

将来を見据えた持続可能な街を目指し、自立分散型エネルギーの活用や効率的なエネルギー利用を促進

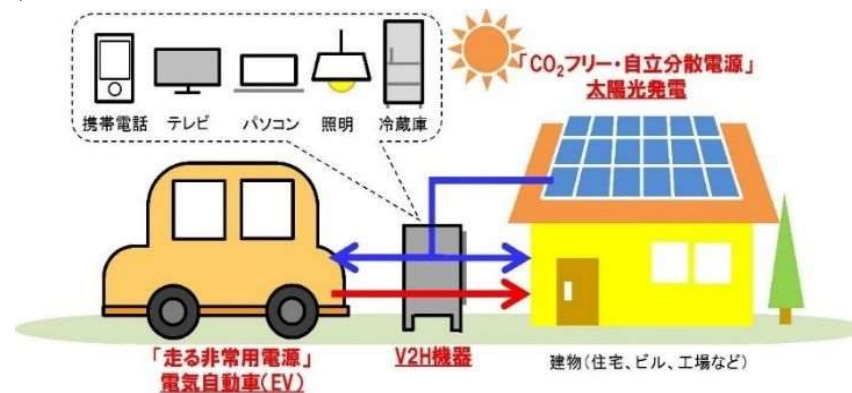
☆○次世代自動車導入促進費

予算額：33,000千円 (P.53)

☆○次世代エネルギーシステム導入促進費

予算額：326,000千円 (P.54)

EV（電気自動車）やFCV（燃料電池自動車）などの次世代自動車及び太陽光発電設備などの次世代エネルギーシステムの購入費用への補助を継続。また、自立分散型電源の導入促進のため、EVとV2H機器（EVと建物を接続し、電気を相互供給できる機器）を同時購入した場合と、さらに太陽光発電設備も同時購入した場合の補助額を上乗せ



※ ★～アクションプランに見込まれていない新規事業

●～新規事業

☆～アクションプランに見込まれていないレベルアップ事業

○～レベルアップ事業

民間建築物の耐震化を促進

民間建築物の耐震化促進のための取組みを拡充

☆〇民間建築物耐震化促進費

予算額：348,000千円（P.59）

耐震診断、設計、工事への補助を継続するとともに、新たに道路に面したブロック塀の撤去費用への補助を新設するほか、木造住宅へのパンフレットの戸別配布や工事業業者向け説明会を実施



都心部・駅周辺の自転車対策

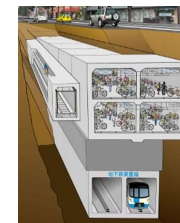
都心部や駅周辺において、歩行者と自転車が共存できる公共空間を創出するために、駐輪場の整備や自転車通行空間の明確化を推進

・放置自転車対策・駐輪場維持関係、駐輪場等整備 予算額：423,000千円（P.52）

西2丁目線地下駐輪場や南2西3再開発駐輪場を整備するほか、北大通及び南大通の車道に矢羽根型路面表示を設置



矢羽根型路面表示



西2丁目線地下駐輪場

公共交通の利便性向上・利用促進

地下鉄、路面電車の利便性向上等により市営交通の利用促進を図るとともに、過度な自動車利用を控えた生活を支える交通ネットワークの活用を推進

・路面電車活用推進費 予算額：1,245,000千円（P.58）

揺れの少ない軌道の導入や低床車両の導入を進めるほか、車両基地や電力設備の改良を推進

・地域公共交通利用環境改善費 予算額：179,000千円（P.57）

バスの運行状況をパソコンやスマートフォン等で確認できるバスロケーションシステムの導入や、ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシー導入への補助により、公共交通の利便性を向上



